

夕張国際学生映画祭2008



Presents 国内学生映画AWARD



1



2

「学生映画の甲子園」と言われたJCF学生映画祭は、1999年に夕張市で始まり、2006年まで7回開催いたしました。その時のグランプリ作品「シェアリング」が後の夕張国際学生映画祭2007の日本代表作品として上映され、見事世界8作品の中でも準グランプリを獲得いたしました。
今回の国際学生映画AWARDは、従来のJCF学生映画祭の流れを汲む「国内学生映画AWARD」の代表作に東京、横浜、京都のそれぞれの学生映画祭の推薦作品を加え、海外の秀作の中から真の学生映画No.1を決定いたします。



6



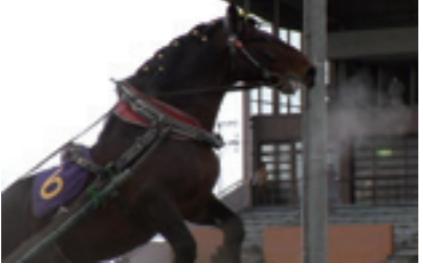
7



8



11



12



16



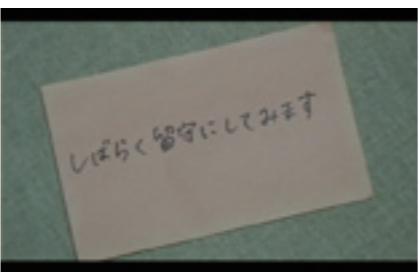
17



18

応募総数118作品の中から、選ばれた20作品。
この中から夕張代表が決定する！！

夕張国際学生映画祭2008



3



4



5



9



10



14



13



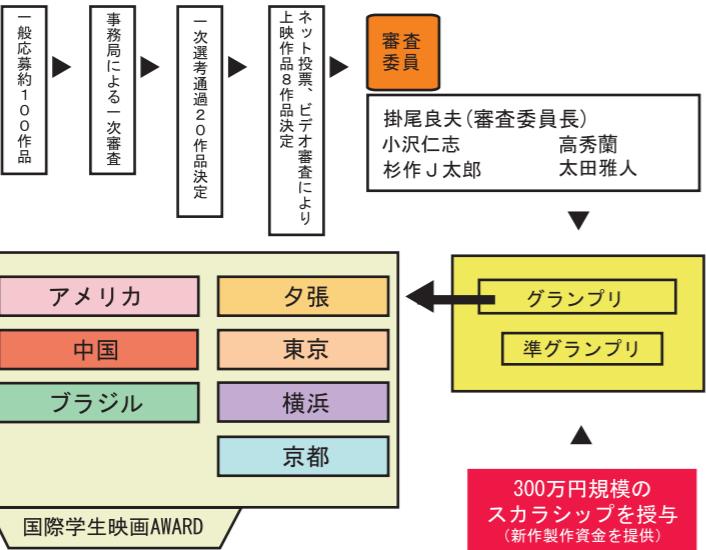
20



19



<夕張国際学生映画祭2008 国内学生映画AWARD 審査の流れ>



1. 『パンツの華』（約21分）監督：小栗はるひ（おぐり・はるひ）パンツに咲く紅葉の華、そんな“華”を取り巻く3人の少女が女性へと変わり行く姿を瑞々しい感性で描いた作品。/ 2. 『strawberry man』（約21分）監督：加納隼（かのう・はやと）イチゴが好きな女の子、その子を好きな男の子、一方通行な思いを届けるために奮闘する。3. 『母いだした日』（約31分）監督：島里佳子（しま・りかこ）「ちょっと留守にしてみます」書置きと共に姿を消した母、母親の存在を改めて考えさせる作品。/ 4. 『七色ランドリー』（約15分）監督：綾瀬卓良（あやせ・たくよし）雨の日のランドリーで出会った二人、その出会いが雨の日を素敵なお虹の日へと変えていく。/ 5. 『サンドイッチマン』（約34分）監督：清水麻美（しみず・まみ）マレーシア人のサンドイッチマンと女子高生、不思議な縁でつながった2人が互いに心を通わせていく。/ 6. 『蛾眼中』（約51分）監督：瀬川浩志（せがわ・こうじ）念願のデート前にあるものを拾った主人公が、間に飲み込まれていく。技術がひかる作品。7. 『ワールドエンドガールフレンド』（約19分）監督：斎藤達介（さいとう・りょうすけ）世界の終わりへの旅に出た2人の少女。果たして少女達を待つものは世界の終わりなのか。/ 8. 『っぽちゃん』（約35分）監督：平井健志朗（ひらい・けんしろう）女子高生っぽちゃんは、悩みごとがたくさん。世の中いろんな人がいる、それが楽しい。/ 9. 『少年少女』（約37分）監督：小栗はるひ（おぐり・はるひ）透明な少年少女が大人社会にもまれ、それぞれの色を手にしていく過程を美しい映像世界の中に描いた作品。/ 10. 『家族のいる景色』（約51分）監督：川部良太（かわべ・りょうた）「家族の一員がある日突然いなくなること」そんな悲しみの景色を通して、家族の現実感を問う。/ 11. 『人馬一体』（約27分）監督：島野貴之（しまの・たかゆき）北海道ばんえい競馬。存続論争の渦中で一頭の馬がチャンピオンを目指す様子を追ったドキュメンタリー。/ 12. 『TOKYO 2038』（約120分）監督：針谷大吾（はりや・だいご）2つの平行世界に跨って展開する闘いと復讐劇を派手な殺陣を巧みに使い描いた長編SFアクション。/ 13. 『お袋さん』（約23分）監督：山本聖（やまもと・さとし）ガラクタ収集を趣味とする女子高生が、猟奇的殺人事件へと巻き込まれていく。都市伝説のホラー。/ 14. 『再見』（約18分）監督：近常奈央（ちかつね・なお）必要以上の言葉を交わす必要があるだろうか。言葉だけでは伝わらない思いを花に託す姿が美しい。/ 15. 『声声』（約43分）監督：川邊崇広（かわべ・たかひろ）声を失い過去を捨てた男と家庭が崩壊し孤独になった少女、2人が出会い共鳴していく。/ 16. 『Place』（約20分）監督：國武俊文（くにたけ・としみ）人が、出会い、別れを経験し、孤独を知り大人へと成長していく様子を鮮やかな色と音で表現する。/ 17. 『ザ・リベンジャーズ～The Revengers～』（約24分）監督：小田歩（おだ・あゆむ）全編英語、オール・アメリカン・ロケ、プロストアント使用の異色の学生アクション映画。/ 18. 『Elemental』（約45分）監督：原明子（はら・あきこ）遇の違う3人、互いの差異に向き合う事で自分自身を見つめなおしていく様子を細かな心理描写で描く。/ 19. 『true tune』（約32分）監督：初野一英（はつの・かずひ）味覚障害に悩まされる二人の女の子は互いに共鳴していく、一粒の飴が二人の感情を繋ぐ。/ 20. 『すみれ人形』（約63分）監督：金子雅和（かなこ・まさかず）猟奇的殺人事件によって人生を狂わされた人々が引き起こしていく不可思議な出来事を描いた作品。